

## 令和元年度第1回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

- 1 日時 令和元年7月3日（水） 午後7時00分から午後8時20分まで
- 2 場所 中央区保健所2階大会議室
- 3 出席者

### 【委員】

張 賢徳（委員長）、平賀正司（副委員長）、岩重佳治、石松伸一、池田真人、宮崎舜賢、阿部 円、前田宥全、乗松 功（代理）、松本 豊（代理）、松本 進（代理）、長崎隆康、石山 章（代理）、三浦 元（代理）、有川泰広（代理）、黒川 眞、遠藤龍雄、田中智彦、吉田和子、山本光昭、長嶋育夫

### 【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進担当係長他

---

### 議題

- 1 中央区の自殺の実態
- 2 今年度の取組
- 3 中央区自殺対策計画の策定について
- 4 その他

### 議事の経過

- 1 中央区の自殺の実態について

#### 【事務局からの説明】

平成30年の自殺者数は31人（男性22人・女性9人）、自殺死亡率は19.77となっており、昨年度と比較して若干上昇しているが、本区は人口が少ないため、若干の自殺者数でも年ごとに数値にバラつきが出てしまう。

傾向としては男性が女性より多いという全国的な傾向と同様である。本区では有職者の割合が高く、自殺原因は健康問題や経済・生活問題、家庭問題が上位3つであるが、健康問題の割合が58.1%と昨年度の約2倍となっている。自殺手段としては全国と同様、首吊りが多いが、本区においては飛び降りの方が全国と比べて突出して多い。

#### 【委員からの意見】

毎年、中央区では飛び降り自殺が多いという報告があるため、対策を今後も検討していかなければならないと同時に、区内での自殺スポットを作らないことが大切である。

- 2 今年度の取組について

#### 【事務局からの説明】

「うつ病・自殺予防に関する普及啓発」として、メッセージカード・リーフレットの窓口配置を行い、9月と3月の自殺対策強化月間にはポスターや懸垂幕の掲示、広報紙での特集号を発行する。あわせて、区役所等でのパネル展示会、街頭キャンペーン、江戸バスでのポスター掲示も実施する。健康福祉まつりや年3回の実施を予定している精神保健講習会等でパネル展示や自殺予防を啓発する。

『気づき』のための人材育成」として、ゲートキーパー養成講座を年3回実施する。

「関係部署・団体とのネットワーク構築」として、昨年を引き続き、京橋図書館と連携し図書館入口に自殺予防に関する書籍を展示する。

#### 【委員からの意見】

自殺の原因、例えばうつ病などに至った経路を調査することで具体的な対策が進むと同時に、関係機関や部署での取組の視点や方向性が定まるのではないかと。

行政には可能な範囲で情報収集と要因分析を行ってもらえれば、自殺対策の議論が深まると思う。

### 3 中央区自殺対策計画の策定について

#### 【事務局からの説明】

平成28年4月に自殺対策基本法が改正され、すべての区市町村に自殺対策計画の策定が義務付けられたことをうけ、中央区自殺対策計画を策定した。自殺に至るまでの段階に着目し、生きづらさを軽減し、自殺の芽を初期の段階から摘んでいくという「中央区にかかわるあらゆる人々の生きづらさの軽減の推進」を理念とした。

#### 【委員からの意見】

自殺対策に関する事業が細かく分類されているため、区民にどのように周知するかが大切である。また、ゲートキーパー養成講座などの自殺対策をメインに扱っている事業以外にも自殺対策に重要な事業が多いため所管部署の方々に自覚を持ってもらうことが大事である。

### 4 その他

#### 【事務局からの説明】

自殺対策計画について、区議会での報告を経て8月に公表する。その後は、自殺対策協議会で計画の進捗状況を報告する。今回策定した計画は令和4年度までの期間で行うため、令和5年度以降の計画を令和4年度の自殺対策協議会で検討を重ねていきたい。

#### 【次回の自殺対策協議会の日時について】

令和元年度第2回中央区自殺対策協議会は令和2年2月5日（水）19時00分から開催することが決定した。